

公共施設評価書(社会体育施設)

番号	32	施設名	東遠カルチャーパーク総合体育館	担当課名	社会教育課	記入者職氏名	主事 小野田貴文
----	----	-----	-----------------	------	-------	--------	----------

1 コスト情報

(単位:円、%)

区分		H20決算額	H21決算額	H22決算額	H23当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	88,752,000	90,228,000	88,928,000	87,500,000	
	②印刷・事務用品、通信費、燃料費、旅費、図書費など	3,595,231	3,147,675	3,347,971	2,745,000	
	③借上料	10,805,112	9,915,077	9,530,596	9,364,000	
	④保険、消費税(租税公課)等	4,943,860	5,067,990	5,072,030	4,896,000	
	⑤その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	6,801,729	7,292,705	3,782,440	4,053,000	
	計	114,897,932	115,651,447	110,661,037	108,558,000	
	対前年度増減率		0.7	△ 4.3	△ 1.9	
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	40,627,685	41,407,827	41,753,395	41,790,000	
	②修繕費	933,725	3,065,688	1,915,233	560,000	
	③光熱水費	37,730,787	34,330,611	36,205,984	35,760,000	
	④燃料費					
	⑤その他(施設消耗品)	7,623,871	9,107,427	8,250,351	8,440,000	
	計	86,916,068	87,911,553	88,124,963	86,550,000	
	対前年度増減率		1.1	0.2	△ 1.8	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		201,814,000	203,563,000	198,786,000	195,108,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		56.9	56.8	55.7	55.6	
(5)利用料収入		45,968,560	46,067,645	46,654,740	44,000,000	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		40.0	39.8	42.2	40.5	

2 スtock情報

(単位:人、%、円、日)

区分		説明				
1 施設 の 状 況	(1)設置目的	東遠地域の住民の生涯スポーツ活動の拠点として、屋内スポーツの競技者はもとより健康志向の高い個人にも気軽に利用していただけるようにトレーニング室や屋内プール等を併設した総合スポーツ施設として設置された				
	(2)施設機能	アリーナ(66m×37m)、観客席(1008席)、車椅子席(40席)、武道場(33m×20m)、弓道場(遠的3人立、近的9人立)、研修室(72人収容)、プール(25m×6コース)、トレーニング室、スタジオ、ランニング・ウォーキングコース(1週230m)、託児室、駐車場(最大480台)				
	(3)建設年度	平成15年度				
	(4)耐震性の有無	有				
	(5)将来予想される改修経費	非常電源設備の蓄電池(バッテリー)54個交換				
区分		H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考(稼働率の考え方)
2 利用 状 況	(1)利用者数	216,930	216,183	213,745	0	
	①アリーナ	75,884	73,026	71,316		
	②トレーニングルーム	37,019	37,137	36,245		
	③スタジオ	10,352	11,244	13,179		
	④弓道場	6,473	7,115	7,103		
	⑤武道場	25,361	25,526	24,843		
	⑥プール	48,176	48,512	47,809		
	⑦研修室	12,406	11,843	11,108		
	⑧その他(託児等)	1,259	1,780	2,142		
	(2)稼働率					
	①体育館	平日昼間		67.00		
		平日夜間		98.00		
		休日昼間		93.00		
		休日夜間		96.00		

区分		H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考
2 利用状況	(2)稼働率					
	②トレーニングルーム	平日昼間				
		平日夜間				
		休日昼間				
		休日夜間				
	③スタジオ	平日昼間				
		平日夜間				
		休日昼間				
		休日夜間				
	④弓道場	平日昼間				
		平日夜間				
		休日昼間				
		休日夜間				
	⑤武道場	平日昼間		61.00		
		平日夜間		86.00		
		休日昼間		67.00		
		休日夜間		89.00		
	⑥プール	平日昼間				
		平日夜間				
		休日昼間				
		休日夜間				

区分			H20実績	H21実績	H22実績	H23当初	備考
	(2)稼働率						
	⑦研修室	1日平均利用者数					
	⑧その他	1日平均利用者数					
3 管 理 ・ 運 営 状 況	(1)指定管理者名		NPO法人掛川市 体育協会	NPO法人掛川市 体育協会	NPO法人掛川市 体育協会	NPO法人掛川市 体育協会	
	(2)一人当たりの運営経費		530	535	518		
	(3)運営日数		311	310	308		
	(4)運営人員	①正規職員			20.0		
		②臨時職員			13.0		
	(5)利用エリアの位置づけ		屋内スポーツの拠点施設	屋内スポーツの拠点施設	屋内スポーツの拠点施設	屋内スポーツの拠点施設	

3 施設の評価

評価の観点	評価のポイント	判断(該当する「□」を塗りつぶす)	左の判断の理由
(1)施設目的の重要性	①目的は納得できる内容か ②社会的に重要な課題に関係しているか ③施設がないとどのようなデメリットがあるか	☒ 重要性は高い ☐ 重要性は概ね高い ☐ 重要性は高くない	トランポリン競技を掛川市拠点づくり事業に位置づけ、「さんりーな」がその拠点施設となっており、市民の競技人口も増加傾向にある。他の室内スポーツ競技の普及においても「さんりーな」が果たす役割は大きい。
(2)施設の有効性	①施設規模と運営内容は課題解決に繋がっているか ②スポーツ人口は増加しているか ③今後も成果を見込めるか	☐ 施設の有効性は高い ☒ 施設の有効性は概ね高い ☐ 施設の有効性は高くない	健康志向への意識が高い市民が個人でスポーツを行いたい場合に、ニーズの高いトレーニング室、室内プール等を有している、市内でも数少ない施設である。
(3)将来の財政負担	老朽化などから将来の設備投資の予定額はどの程度か	☒ 1千万円未満 ☐ 1千万円以上1億円未満 ☐ 1億円以上	非常電源設備の蓄電池(バッテリー)が開館から8年経過し交換が必要な状態である。
(4)管理運営費の妥当性	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費に削減の余地はないか	☐ 管理運営費は妥当 ☒ 管理運営費は概ね妥当 ☐ 管理運営費は妥当ではない	他市の同類施設や民間施設との比較が単純にできず、妥当かどうかの判断ができない。今後検証していきたい。

評価の観点	評価のポイント	判断(該当する「□」を塗りつぶす)	左の判断の理由
(5)収支差額の納得性	収支差額の状況は市民に理解が得られるか (市民とは競技団体以外の市民を含む)	☐ 理解は得られる ☒ 概ね理解は得られる ☐ 理解を得ることは難しい	収益をあげることよりも市民へスポーツ活動を行う場を提供することが本来である。しかし、指定管理者制度を採用している以上、市が直営する以上のメリットが結果として出ればいいが。
(6)類似施設・機能の有無	①官民を問わず、狭い範囲で同様な施設が立地していないか ②施設機能は近隣施設と重複しないか	☒ 類似施設・重複機能はない ☐ 類似施設・重複機能がある	大型フロアの体育館と室内プールやトレーニング室を併設した施設はなく、様々な運動種目を複合的に取り入れた運動プログラムを展開できる施設である。
(7)施設機能代替の可能性の有無	①民間或いは他の公共施設(学校等)で代替できる機能はないか ②統合できる機能はないか	☒ 代替の可能性はない ☐ 代替の可能性はある	バスケットコート4面を同一フロアで確保できる規模の体育館が市内には他になく、大規模な大会を開催することもできる。大会を間近で観戦することで競技スポーツ人口の拡大・普及にもつながられる。
(8)運営形態の合理性	①指定管理者制度での運営が最適な運営形態か ②民間等への移管や移行はできないか	☐ 現状は合理的である ☒ 現状は概ね合理的である ☐ 現状は合理的ではない	掛川市のスポーツ振興の重要な拠点施設という位置づけであるので民間等への移管・移行は好ましくない。直営が難しい情勢で指定管理を導入しているので、現状が望ましい。管理料等は別途協議が必要。
(9)利用料金の設定	①利用料金の設定は適切か ②他市や民間の類似サービスと比較してどうか	☐ 利用料金は適切である ☒ 利用料金は概ね適切である ☐ 利用料金は適切ではない	市内の民間施設と比較し、大きく差がある料金設定がされているわけではない。
(10)収支改善の見込み	①コスト削減努力の余地はあるか ②利用者増は見込めるか	☐ 改善は十分見込まれる ☒ 改善の余地はある ☐ 改善は難しい	これまでも努力していると思うが、さらなる努力をすればさらなるコスト削減につながる余地はあるように考えられる。

4 指定管理者の評価

評価の観点	評価のポイント	判断(該当する「□」を塗りつぶす)	左の判断の理由
(1)管理運営の状況	①施設目的が発揮されているか ②公共性・公益性・公平性が確保できているか ③サービスの向上が図られているか	☐ 適切に管理運営が行われている ☒ 概ね適切に管理運営が行われている ☐ 管理運営は不十分	施設の貸出について、調整予約という方法を導入し利用者の希望を極力優先する貸出ができています。
(2)年度事業計画の内容及び実行性	①事業計画の内容が施設機能を最大限発揮する内容になっているか ②計画どおり事業が実施されているか	☐ 事業の進捗は順調 ☒ 事業の進捗は概ね順調 ☐ 事業の進捗は不十分	年度計画に沿って事業を展開されている。

評価の観点	評価のポイント	判断(該当する「□」を塗りつぶす)	左の判断の理由
(3)運営能力	①事業計画に沿った管理運営を安定して行う 物的・人的能力を有しているか ②安全で安定した管理運営ができているか	☐ 運営能力は非常に高い ☒ 運営能力は高い ☐ 運営能力は高くない	各種のスポーツでの経験が豊富な職員によって管理運営され、施設の隅々まで気を配った管理がされている。施設の不備が発生した場合も臨機応変な対応がされている。
(4)コスト削減の状況	①効率的な運営が行われているか ②経営の課題・問題点を把握しているか ③コスト削減に向けた取り組みをしているか	☐ 改善努力は十分に行われている ☒ 改善努力はある程度行われている ☐ 改善努力は不十分	結果としてまだあらわれていないが、全職員一丸となってコスト(特に光熱費)削減に向けた取組がされている。
(5)危機管理等の措置	①個人情報管理及び危機管理マニュアルは整備されているか ②他施設の事故等を即座に反映するなど積極的改善努力がみられるか	☒ 適切な措置がとられている ☐ 概ね適切な措置がとられている ☐ 措置は不十分	全職員対象の防災訓練の実施、事後検証をすることで危険と思われる箇所の確認、全員での意思統一がされている。また、全職員が普通救命講習も積極的に受講している。

5 総合評価

区分	評価の観点	検討のポイント	評価結果
現状総括	施設の意義・成果	①施設を維持する必要性は高いか ②施設は適切に管理運営され、成果を上げているか	バスケットボールなら4試合を同時に実施できるため大規模な大会を会場移動等なしで1カ所で開催できる。また、トランポリン競技を掛川市拠点づくり事業に位置づけて普及を図っている。(競技の特性上、アリーナ部分にある程度高さが必要で市内に他にない)スポーツ事情に精通した体育協会職員により施設の維持・管理がなされている。
	施設の問題点・解決すべき課題	①施設が抱える問題点は何か ②解決すべき課題は何か	アリーナ等も含めて個人利用者の利用促進につながるような料金体系への見直し。設備面での補修が出始める時期。
区分	評価の観点	判断(該当する「□」を塗りつぶす)	左の理由・改善プランなど
今後の方向性	必要性の評価	☒ 改善プランを策定し継続する ☐ 地域等で支える仕組みを検討する ☐ 運営形態を変更して継続する	掛川市の屋内スポーツの拠点となる施設であり、現状で施設面に大きな問題がないため、利用者促進の策を講じながら継続するのが望ましい。